

安倍内閣の集団的自衛権と 安全保障法制に関する講演会

安倍政権は集団的自衛権行使容認の閣議決定を具体化する安全保障法制の整備に向けて与党協議を行い、5月連休明けに通常国会に関連法案を一括提出して成立させようとしています。憲法9条の制約を取り払い、米国と共に海外で戦争する体制づくりをめざす安保法制につき、元外務省・国際情報局長で退官後は外交問題の論客として活躍されている孫崎享氏に、政府の狙いと問題点につき講演していただきます。ぜひご参加ください。

日時：5月23日（土）14：00～16：00

会場：石川県教育会館3階ホール（香林坊）

演題「安倍政権のねらう戦争法制の危険性」

資料代：500円



講師 **孫崎 享**さん

孫崎 享（まごさき うける）さん プロフィール

1943年、旧満州国鞍山生まれ。太平洋戦争終結にともない父の故郷である石川県小松市に引き揚げる。小松市立松陽中学校を経て金沢大学教育学部附属高等学校卒業。東京大学法学部在学中に外交官採用試験に合格したため大学を中退、外務省に入省。駐ウズベキスタン大使、外務省国際情報局長、駐イラン大使などの要職を歴任。2002年より防衛大学教授。2009年3月退官。現在、東アジア共同体研究所長。執筆、講演活動のほか、ツイッターやニコニコチャンネル「孫崎享のつぶやき」などでも積極的に発言している。

主な著書に、20万部を超えるベストセラーとなった『戦後史の正体』（創元社）はじめ、『小説外務省』（現代書館）、『日米同盟の正体』（講談社現代新書）、『日本の国境問題』（ちくま新書）など。最新刊はマーティン・ファクラー氏（ニューヨーク・タイムズ東京支局長）との対談『崖っぷち国家日本の決断～安倍政権の暴走と自主独立への提言』（日本文芸社、2015年2月刊）。

●改正が検討中の主な法律

- ・海外派兵恒久化法（一般法）
- ・自衛隊法
- ・周辺事態法
- ・国際平和維持活動協力法
- ・武力攻撃事態法
- ・国民保護法
- ・国家安全保障会議設置法 etc

主催 **戦争をさせない石川の会**

連絡先

金沢合同法律事務所気付 TEL 076-221-4111